

# 第 1 号議案 2024 年度事業活動報告（案）に関する件

## 1. ビジョン・ミッション

ビジョン	北海道 NPO サポートセンターは、市民が主体的に社会課題に取り組み、新しい価値を創造することで、誰もが排除されず・多様性が保障された社会を目指します。
ミッション	北海道 NPO サポートセンターは、「社会課題解決」「価値創造」「市民参加」が実現されるように、NPO・市民・企業などをサポートします。

## 2. 各事業の実績一覧

2024 年度決算額（円）		事業内容	実績
【市民の思いを形にする・支える部門】			
1. 組織運営支援事業			
1-1. バックオフィス支援事業			
バックオフィスサポート	5,773,444	・道内 NPO 等への会計サポート（日常会計、決算、会計ソフト導入、助成事業会計サポート等） ・会計相談対応 ・「一緒に始めるバックオフィス改善連続講座」実施 ・支援者管理ツール（Salesforce など）導入、運用サポート	・継続サポート団体数：25 団体 他、単発の会計相談対応など ・NPO 法人会計税務専門家ネットワークとの連携により全国の NPO 法人の会計相談に対応 ・一緒に始めるバックオフィス改善連続講座：全 3 回実施 ・支援者管理ツールの導入、運用サポート：0 団体
運営サポート （共同事務所運営含む）	1,328,666	・連携団体の事務局受託	・3 団体より受託 ・シェアオフィス（星園 306 号室）を運営。入居数：3 団体
1-2. 非営利団体設立・運営支援事業			
法人設立支援、書類作成支援、運営相談	0	・NPO 等の設立に関する相談対応、NPO 法人の年度末事務サポート	運営相談 25 件、設立相談 10 件 その他相談 5 件、計 40 件
専門家連携	18,000	・NPO 等支援に関わる専門家のネットワーク形成、連携	・札幌弁護士会との連携 「NPO 法人の“監事”の役割を考える！」4/20 実施 「NPO 法人向け講座 弁護士による連続セミナー」 11 月～全 5 回講座 （第 3 回まで実施済み）
2. 非営利事業担い手育成、事業伴走支援事業			
2-1. 担い手育成事業			
ろうきん寄付講座	2,102,000	・北海道労働金庫との連携 （2023 年 3 月連携協定締	・ろうきん寄付講座を実施。 全 7 回（オンラインのみ）。

			結)	
2 - 2. 事業伴走支援事業				
	休眠預金等活用事業	8,451,898	・北海道 NPO ファンドと連携し、休眠預金等活用法に基づく助成事業の検討、実践	・2021 年度通常枠) 3 団体事業実施、3 月末で終了。 ・2022 年度通常枠) 3 団体事業実施中。 ・2024 年度緊急枠) 2025 年 2 月事業開始。
	事業評価・組織評価	0	・NPO 等へ事業評価、組織評価の必要性、重要性を周知、啓発する活動 ・NPO 等へ事業評価、組織評価の伴走支援	・10 月「ソーシャルビジネスセミナー」にて組織戦略について講義。 ・12 月休眠預金等活用事業の一環として、体験格差に関する講演会開催。 ・12 月札幌市認定 NPO 法人セミナー登壇、成果を表現する事業報告をテーマに講義。 ・3 月栗山町にて NPO セミナー実施。事業評価基礎について講義。
【市民の思いを醸成する事業部門】				
1. 災害時及び被災後における中間支援事業				
	1 - 1. 北の国災害サポートチーム	73,500	・災害中間支援組織としての活動	・幹事団体として参画。10 月全道フォーラム実施。3 月オンライン研修会（全 3 回）実施、など。 ・令和 6 年能登半島地震の支援に入っている全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD）の応援要請を受けて、石川県庁にスタッフを派遣。
	1 - 2. 道内避難者の心のケア事業	8,110,821	・北海道からの委託を受け、東日本大震災で避難生活が続けられている避難者に対し、安心して避難生活を送っていただけるよう、避難者の心のケアに向けた事業	・情報誌：4 回発行 ・交流・相談会開催：3 回開催 ①函館市 32 名、②旭川市 17 名、③札幌市（芋煮会）23 名 ・その他：相談対応、情報共有ミーティング開催 等
2. 中間支援の在り方検討、連携強化				
	全道中間支援交流 & 研修会	188,000	・「全道中間支援センターネットワーク」の形成 ・道内各地の中間支援センターとの交流・研修会実施	・全道の中間支援センターの会合を定期的開催 ・交流・研修会は 10/20～21 の日程で、札幌にて実施。
3. 他機関連携、外部委員会出席等				

3-1. SAVE JAPAN プロジェクト	750,000	・損害保険ジャパン（株）と日本 NPO センター、全国の中間支援組織が連携し、市民参加型の自然保護活動を全国で推進する取り組み 地域の NPO と協働し、身近な自然を守る体験型イベントなどを通じて、環境保全と地域づくりをつなげている	・石狩川流域 湿地・水辺・海岸ネットワーク（しめっちネット）が活動団体となり「生態系を活用した防災・減災（Eco-DRR）の視点を盛り込んだ学習会（しめっちカフェ）を4回開催。
3-2. 外部委員会出席等	333,217	・他団体主催会議への出席、その他、助成審査や講師活動などを実施	・三菱 UFJ リサーチの厚生労働省「共生社会における中間支援の役割」に委員として出席 ・北海道社会福祉協議会、NPO 法人会計基準協議会、全国労働者共済生活協同組合連合会等に対し委員派遣などを実施
【思いをつなげる事業部門】			
1. 社会参加する方を増やす取り組み			
1-1. シニア層の社会参加を増やす			
生活支援コーディネーター養成研修事業	5,854,640	・北海道高齢者保健福祉課より委託を受け、市町村が配置する生活支援コーディネーターを対象とした研修を行うことにより、地域における介護予防・生活支援サービスの充実が図られるよう支援を実施	・全道各地の生活支援コーディネーター及び自治体関係者等が参加 ・基礎研修：7 月、札幌 2 日間、のべ 228 名 ・応用研修：10～11 月、全道 12 か所、104 名 ・番外編：1 月、札幌、23 名
1-2. 若者層の社会参加を増やす	0	・若者層の社会参加を増やす事業の検討	・北海道ボランティアインターンシップサポートセンター（H VISC）の検討
1-3. 情報発信事業（NPO 情報含む）	10,000	・NPO 等の効率的、効果的な情報発信の検討	・『北海道 NPO 情報』に会員団体のチラシ等を同封 ・北海道 NPO サポートセンターの広報ツールの役割再検討、など。
【事業戦略部門】			
1. 北海道 NPO の戦略づくりプロジェクト	0	・『NPO の DNA』の周知活動	・11/2 旭川「CoCoDe まつり」、7/28 函館「NPO まつり」への参加 ・ポスター、名刺サイズチラシ等の作成、配布

2. 調査・研究事業	0	・道内 NPO 等に関する調査を行い、NPO 等の活動実態把握やアドボカシー活動のための基礎資料を得る	・実施なし
3. 政策提言	0	・現場から得た知見をもとに、制度改善や仕組みづくりに向けた提案を行う。多様な声を集め、行政・関係機関との対話を通じて実効性のある政策提言を進める。	・実施なし
事業収益合計	32,994,186		

#### 4. 上記以外の活動・事業について

##### (1) 会員数

目標：団体会員 200 団体、個人会員 100 人を目標

実績：2024 年度末 現在 団体 150（前年比-6）、個人 47（前年比-15）

##### (2) 小林董信基金

当センターの事務局長を長きにわたり務められ、北海道の NPO 活動の基礎づくりに多大な貢献をされた故・小林董信氏を偲び、その足跡と功績を後世に伝えるために基金を造成し、小林董信氏が実践されていた「人を育てる」「人を応援する」ことを目的とした助成を行いました。（北海道 NPO ファンドと連携事業／ファンド内に基金を造成）第 2 期助成期間まで終了し、第 3 期公募を行いました（2025 年 5 月助成先決定予定）。